

一般の医療機関（病院・診療所等）における
エボラ出血熱疑似患者に対する
個人防護具（PPE）選択の考え方

北九州市立八幡病院 感染制御室
伊藤重彦

はじめに

エボラ出血熱に感染している可能性がある患者（疑似患者）※¹）については、原則、保健所職員が対応し、必要な場合に指定医療機関へ搬送する手順になっている。しかしながら、流行国からの帰国者が、一般の医療機関に発熱を主訴に受診する可能性は否定できない。本項では、一般医療機関、診療所の外来へ発熱を主訴にエボラ出血熱疑似患者が来院した場合の対応と注意点について述べる

※¹ 1ヶ月以内に流行国（ギニア、リベリア、シエラレオネ）に滞在し、かつ38℃以上の発熱のあるもの

エボラ出血熱疑似患者との接触リスク

●高リスク

疑似患者と直接接触する又は汚染環境からウイルスの曝露を受ける可能性が高い状況をいう。吐物に触れる可能性の有無で着用するPPEが異なるため、さらにリスクの違いで

(A) と (B) に分ける

(A) 発熱のみの患者との接触、汚染環境との接触

(B) 嘔吐を伴う患者との接触、患者の嘔吐物の処理

●中リスク

発熱症状のみの患者に対して、原則、1m 以上離れて対応

するが、接触する不測の事態が起こる可能性が否定できない状況をいう。

●低リスク

疑似患者と接触しないことが明らかな状況をいう

接触リスクとPPE選択の考え方

- ・発熱のみの症状を呈するエボラ出血熱患者からの接触感染リスクは低いとの報告があるが、一方で高い毒性（感染した場合の死亡率約40%）を考えると、適切なPPE着用により確実な接触感染対策を行うことが重要である。
- ・エボラ出血熱の感染者や疑似患者が、一般医療機関に突然来院してきた場合の感染対策、とくに外来に準備しておくべき医療材料、接触リスクにあわせた適切な个人防护具（PPE）着用の考え方について述べる。

高リスク接触におけるPPE選択の考え方

○高リスク（A）

- ・発熱のみの症状患者で、明らかに接触する。
- ・ウイルス曝露のリスクは高リスク（B）より低いが、十分な接触感染対策を行う。
- ・手袋のリークを考え、2重の手袋にする

○高リスク（B）

- ・嘔吐を伴う患者との接触、嘔吐物の処理を行う。
- ・ウイルス曝露を受ける可能性が最も高いため、接触感染対策と飛沫感染対策を行う。
- ・マスクは、N95マスク着用を標準とする
- ・嘔吐物周囲の床汚染を考え、シューカバー又は廃棄できる長靴を着用する。
- ・私服汚染を避けるため、タイベックスーツ着用を考える。

中～低リスク接触におけるPPE選択の考え方

○中リスク

- ・発熱のみの患者に、原則1m以上離れて対応する
- ・検温・問診において、手袋を介して接触する可能性がある。
- ・ウイルス飛沫に曝露する危険はない。
- ・接触感染対策を行う。
- ・手袋は2重でも一重でもよい。
- ・マスクは、サージカルマスクを標準とする。

○低リスク

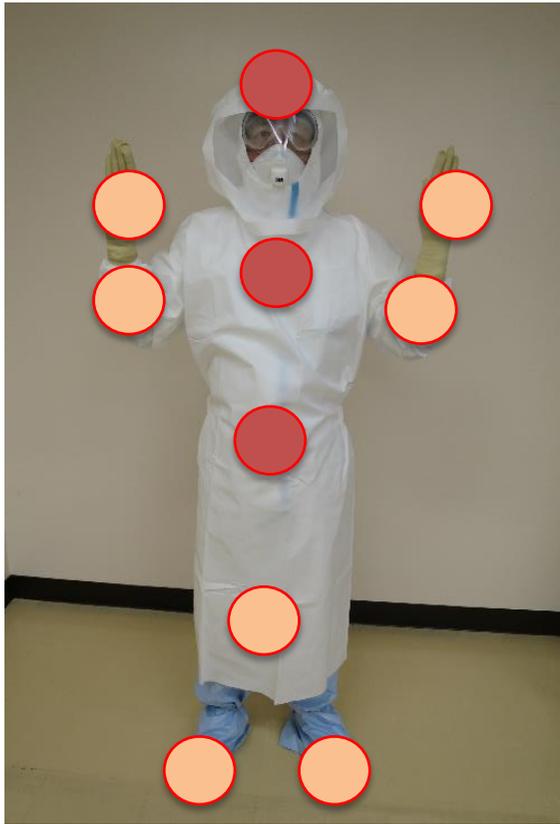
- ・接触しないことが明らかなら、特別なPPEは不要
- ・接触感染対策を行う場合は、中リスクに準じる

一般医療機関におけるPPEについて

PPEの汚染度と着脱のポイント

- ・ PPEの前面は最も汚染している
- ・ PPEの側面・後面は比較的清潔
- ・ PPEの最後に手袋を着ける
- ・ PPEの最初に手袋を外す
- ・ PPEの着脱前後には手洗いする

出典：「エボラ出血熱に対応するPPE着脱の実際と防護の考え方」



- 全周汚染
- 前面汚染

- ・ ゴーグル・マスクのベルト（横・後）
→ 比較的汚染が少ない
- ・ ガウン後ろ側、ガウンのヒモ
→ 比較的汚染が少ない

出典：「エボラ出血熱に対応するPPE着脱の実際と防護の考え方」

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

PPE の種類と汚染度

汚染度	着用PPEの汚染度	
高い	2重の手袋の外側	
	シューカバー（長靴）	
	長袖ガウン	
	フェースシールド	
中間	タイベックスーツ	
	2重の手袋の内側	
	ゴーグル	(フェースシールドのない場合)
	マスク	
低い	ゴーグル	(フェースシールドのある場合)
	マスク	

出典：「エボラ出血熱に対応するPPE着脱の実際と防護の考え方」

接触レベルと着用するPPE（一般医療機関）

着用するPPEの種類	接触レベル			
	高い		中間	低い
	発熱	嘔吐	発熱	発熱
手袋（2重）	○	○	△	×
手袋（一重）	×	×	○	○
長袖ガウン	○	○	○	○
タイベックスーツ	×	△	×	×
フェースシールド	×	○	×	×
ゴーグル	○	○	△	×
サージカルマスク	○	△	○	○
N95マスク	△	○	△	×
シューカバー（長靴）	×	○	×	×

- ・発熱のみの症状と嘔吐を伴う場合で、着用する个人防护具（PPE）は異なる
- ・○は必ず着すべきPPE、△は着用が望ましいPPE、×は着用が不要なPPE

診療所等の一般医療機関にエボラ出血熱疑似患者が受診した ときのために外来に準備しておくべき物品一覧

環境除菌剤と 清拭用ワイプ	次亜塩素酸ナトリウム（ハイター [®] など）
	ペルオキソー硫酸水素カリウム（酸化剤）配合剤 （ルビスタ [®] ）
手指消毒薬	アルコール含有手指消毒薬
PPE	手袋、長袖ガウン（半袖エプロンは不可）
	シューカバー、（タイベックスーツ）
	N95マスク、サージカルマスク、廃棄できるゴーグル
体温測定	廃棄できる体温計
廃物容器	感染性廃棄物（PPEや汚染ワイプなど）が入る、大きめで頑丈なビニール袋